

北海道自閉症協会札幌分会（札幌ポプラ会）主催

発達が気になる子のための子育て講座

はじまりは理解から～気になる子どもの育ち ご報告

今年度2回目の子育て講座「はじまりは理解から～気になる子どもの育ち」を、2月11日 かでの2・7にて、札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる 山本彩所長をお招きして行いました。

当日の参加者は、34名で保護者の方やたくさんの支援職の方にも参加いただきました。

山本先生には「発達が気になるお子さんとの関わり方・育児のヒント」について具体的事例をあげながら、行動の背後にあるものを理解することの大切さを丁寧にお話していただきました。

ご講演の後は、JDD ネット北海道加盟の親の会の皆様から、各会の取り組みや活動について紹介していただきました。

午後からのフリートークにも16名の方が残って下さり、2つのテーブルに分かれてフリートークを行いました。

一つは「お父さんコーナー」でしたが、話をしていくうちに話題は一つになり、父親も母親も支援職の方も、子どもに対する悩みや想いは同じなのだと実感しました。

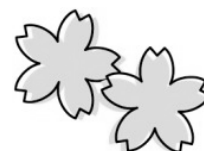
当日はお忙しい中お越しくございました参加者の皆様、JDD ネット北海道加盟団体の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

（石川）



～参加者の皆様から感想をお寄せいただきました。～

- ・日常生活の中で子どもの行動に溜め息をついてしまうこともありますが、もう少し行動の背後に何かあるのかなと気をつけて見ていかなくてはと思いました。
今後知りたいことは、本人に告知をする時のタイミングや方法、気をつけなければいけない事など。(保護者)
- ・大きな組織の中でこぼれ落ちるように救えない方がいる。支援職としての立場だけでは力になれないこともあるので、ペアレントメンターに興味あります。(親で支援職)
- ・科学的に考えることや、日本文化にこだわりすぎないことなど大切な視点を教えて頂きました。
いくら正論を活かしても伝わらないこともあったり、燃えつきたり…
現場の問題点も心に残りました。今後の力になりました。(支援職)
- ・「はじめりは理解から」私もこのタイトルに興味がありました。
見えないことを理解するのはエネルギーを使いますし、間違えると大変な方向になってしまいますネ。けど理解をすることで今日のお話を聞いて、その子を知るきっかけ、支援の手口になると思いました。その子にあったてだてができるよう、しっかり背景にある行動を見ていきたいと思えます。(支援職)
- ・今日は時間もなく茶話会に出られなかったが、家族同士同じ悩みをもった人たちの“わかちあい”の場はほしいです。そうすると気持ちも楽になると思っています。これはどの分野でも同じです。
発達障がい、ネグレクト、教育分野の話を知りたいです。
私は医療、福祉分野に少し関わりがあります。色々な立場の方の意見、考えは聞きたいです。(支援職)



ご参加くださった皆様、ありがとうございました！！

